

## <日本生活科・総合的学習教育学会 第30回大会 静岡「富士山」大会(オンライン開催) 報告>

生活科・総合的な学習指導員 尾崎めぐみ

午前の課題別研究発表では、第2分科会「コロナ禍の生活科の授業で、直接体験を重視し表現活動の充実をどのように図るか」に参加しました。愛知教育大学・岐阜聖徳大学の大山夏生先生が、オンラインスタートカリキュラムで扱ったフラフープを題材とし焦点化したことで、対面スタートカリキュラムにスムーズに移行することができた実践を発表されました。午後は全体会とパネルディスカッションでした。最後に、朝倉淳会長が振り返りの重要さに触れ、「自分自身について知らなければ、持続可能な社会の創り手になることはできない」と話されたことが印象に残りました。

## <第1回 岡崎総合的な学習研究会(岡総研) 報告> 生活科・総合的な学習指導員 尾崎めぐみ

6月4日(金)にZOOMを活用し、オンラインで開催されました。前半の自己紹介の場では、多くの先生が今年度の取り組みについて熱く語られました。後半は講師の久野先生から、SDGsや個別最適な学びに関する最新の情報をお話していただきました。画面越しではありましたが、先生方の意気込みが伝わってくる実りある会となりました。次回(10/8 金)も多くの方の参加をお待ちしています。



# ~きれいと輝く 素敵な一瞬~



毎日の日課にもなっている、アサガオの水やり。自分のアサガオに、毎日欠かさず、「早く大きくなあれ」や「元気に育てね」と声を掛けている子供の姿がありました。子供は、アサガオとともに、成長していると感じられた瞬間でした。

(根石小学校 大久保日向子先生)



野菜作りでは、名前を付けて呼びかけたり、欠かさず水やりをしたりする姿が見られます。「おいしそうなピーマンのにおいがしたよ」といった声も聞かれ、収穫をととても楽しみにしている様子です。

(羽根小学校 岩瀬篤史先生)



あさがおに肥料をあげる日、「いつもはお水だけだけど、今日は『すべしゃるなおやつ』だよ」と言って渡しました。子どもたちは、一粒ずつ丁寧に鉢に肥料を入れ、「あさがおさあ、おいしいですか? いっぱい食べてね」と笑顔で話しかけながら、いつもよりも顔を寄せて、観察していました。

(亀美丘小学校 奈良祐子先生)



生活科の野菜作りでは、二七市に行き、自分が育てる野菜の苗を購入しました。二七市に行った帰り道では、「早く植えたいな」や「大きく育ててほしいな」という野菜作りを楽しみにしている声がいくつも聞こえてきました。

(愛宕小学校 生駒謙汰先生)



生きものはっけんの授業で、校庭にいる虫をつかまえました。虫取りが得意な子が苦手な子につかまえてあげている姿を見て、優しさを感じました。大切に育てる姿を、見守っていきたいです。

(本宿小学校 小野田有紗先生)



4月末に「ワン・ツータイム1年生をむかえる会」を行いました。2年生が司会やゲーム説明を行い、1年生のために、一緒に遊んだり、プレゼントをしたりしました。会の後には「1年生も楽しんでくれました。1年生が困っていたら、助けてあげられる2年生になりたいです」と感想を述べ、年上としての自覚をもち、がんばりたいという気持ちがあふれていました。

(常磐小学校 森嶋経子先生)

